



IIXIL 収納部材 すっきり棚 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …施工を誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



- 下地材は下記条件を守って施工してください。棚柱が抜け、ケガをするおそれがあります。
 - ・30mm×105mm以上の木材または厚さ12mm以上の合板を使ってください。
 - ・虫食いなどのない乾燥材を指定の位置に設置し、躯体に釘などで固定してください。
 - ・下地材が不明な場合は、内装ボードをはがして指定の合板を張ってください。
- 取付け中、仮置きとして重いものを載せないでください。棚柱が抜け、ケガをするおそれがあります。
- タイルやエコカラットなどの厚みがあって割れやすい壁仕上げ材には施工できません。取付け強度不足により落下、破損することがあります。
- 樹脂棚板と鉄芯を切断後、必ず所定の位置に鉄芯を挿入してください。樹脂棚板が脱落することがあります。

保管・設置場所のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるため、開梱時に必ず検品をしてください。製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- ソリ・ねじれ防止のため、水・直射日光の当たる場所に開梱状態で置かないでください。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。
- 製品不具合となるため、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。
- 製品不具合となるので、下記場所への設置はしないでください。(コンクリート、モルタル)
- 表面の塗装やシートがはがれるため、粘着テープなどを製品に張らないでください。
- 製品損傷となるため、熱や蒸気を発する電化製品の付近に取付けしないでください。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	棚柱は水平垂直を確認し取付けましたか?	<input type="checkbox"/>
2	パイプを横並び(連装)にする場合、中間部は 端部用 棚柱にし、35.5mm以上離して取付けましたか?	<input type="checkbox"/>
3	パイプ切断後はバリを取り除きましたか?	<input type="checkbox"/>
4	ブラケットの抜け止めは正しくはまっていますか?	<input type="checkbox"/>



1 下地材の設置

▲ 注意



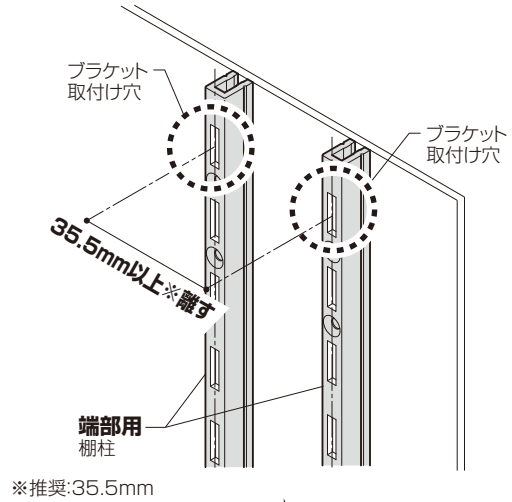
- 下地材は下記条件を守って施工してください。棚柱が抜け、ケガをするおそれがあります。
- ・ 30mm×105mm以上の木材または厚さ12mm以上の合板を使ってください。
- ・ 虫食いなどのない乾燥材を指定の位置に設置し、躯体に釘などで固定してください。
- ・ 下地材が不明な場合は、内装ボードをはがして指定の合板を張ってください。

① 棚柱の裏側に下地材を設置します。

※ 本製品はブラケット取付け穴芯々寸法で910mm以内に対応しています。

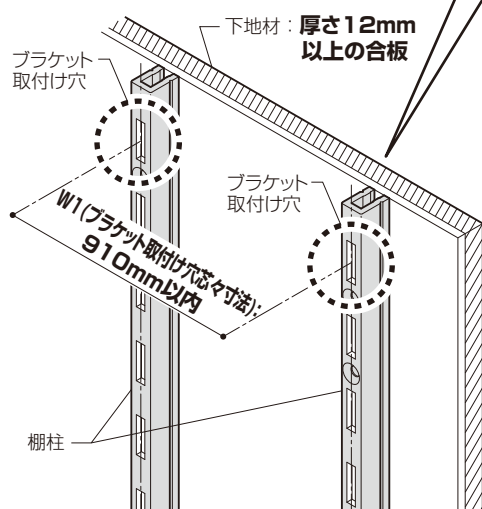
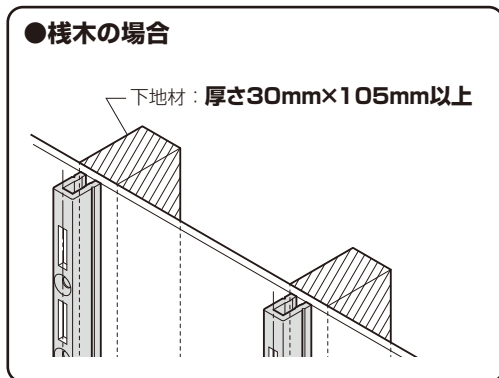
【パイプを横並び(連装)にする場合】

パイプ同士が干渉するため、**端部用**棚柱を35.5mm離して設置してください。



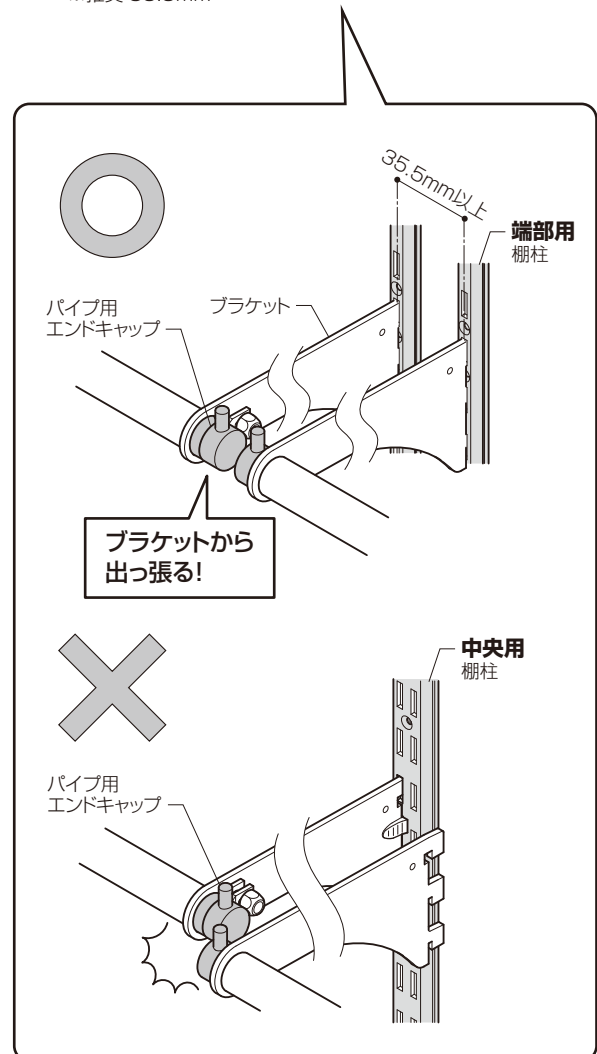
【下地材の条件】

● 桟木の場合



※ W1=600mm: 木製棚板の幅切断不要

W1=910mm: 木製棚板・樹脂棚板・パイプの幅切断不要






■棚柱の取付け

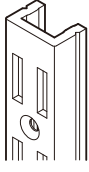


棚柱取付け上のお願い

- 本製品は難燃・準不燃・不燃には適合しません。可燃物からの設置制限のある機器の設置は、当該機器の説明書に従ってください。
- 製品取付け不良防止のため、各棚柱は水平・垂直に取付けてください。
- 部材の脱落やゆがみなどが発生するため、必ず同梱の指定のねじを使用してください。
- 部品や部材が破損するため、クラッチ付きドライバーで固定してください。

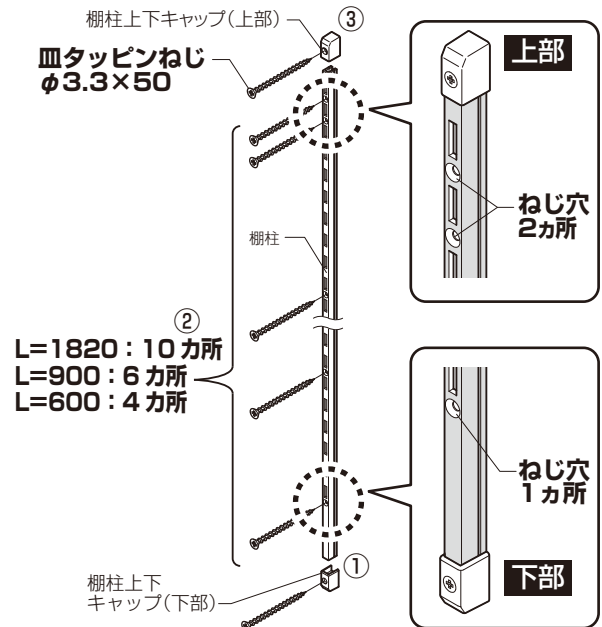
■棚柱端部用セット

		L=1820	L=900	L=600
棚柱(端部用)		2	2	2
皿タッピンねじ φ3.3×50		24	16	12
棚柱(端部用) 上下キャップ		4	4	4

■棚柱中央用セット

		L=1820	L=900	L=600
棚柱(中央用)		1	1	1
皿タッピンねじ φ3.3×50		12	8	6
棚柱(中央用) 上下キャップ		2	2	2

- ①棚柱上下キャップ(下部)の取付け
- ②棚柱の取付け
- ③棚柱上下キャップ(上部)の取付け



3 樹脂棚板の組立て

▲ 注意



●樹脂棚板と鉄芯を切断後、必ず所定の位置に鉄芯を挿入してください。樹脂棚板が脱落することがあります。

樹脂棚板組立て上のお願い

- 棚板外観不良になるため、鉄芯切断後のバリは取り除いてください。
- 耐荷重ラベルの位置を揃えるため、棚板は同じ方向から切断してください。

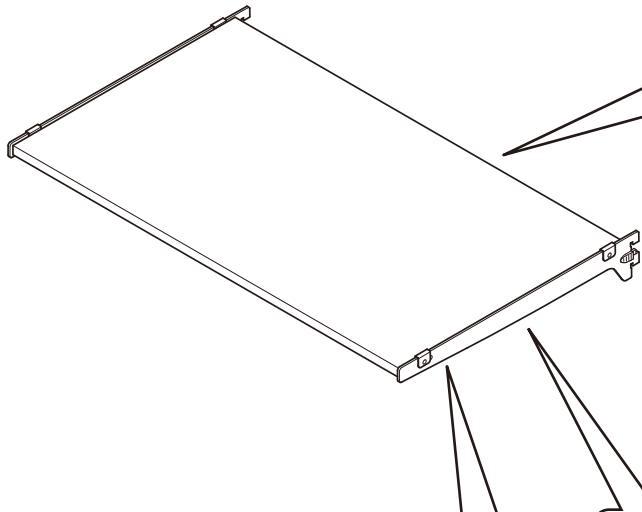
- ①必要に応じて棚板、鉄芯を切断します。
※ブラケット取付け穴芯々910mmの場合は不要
- ②鉄芯を指定の位置に差し込みます。
- ③棚板固定金具を鉄芯に少しだけ差し込んでください。
- ④ブラケットを棚板固定金具に差し込みます。
(棚板後⇒前)の順に)
- ⑤最後に棚板固定金具を最後まで押込みます。

■樹脂棚板セットW900

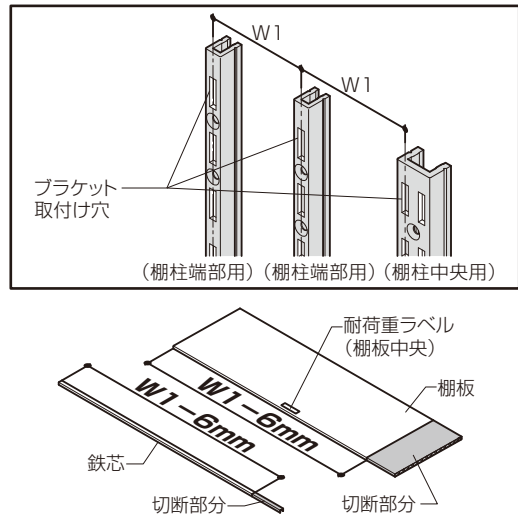
		1枚入	5枚入
棚板 L=904		1	5
鉄芯 L=904		2	10

■樹脂棚板用ブラケットセット

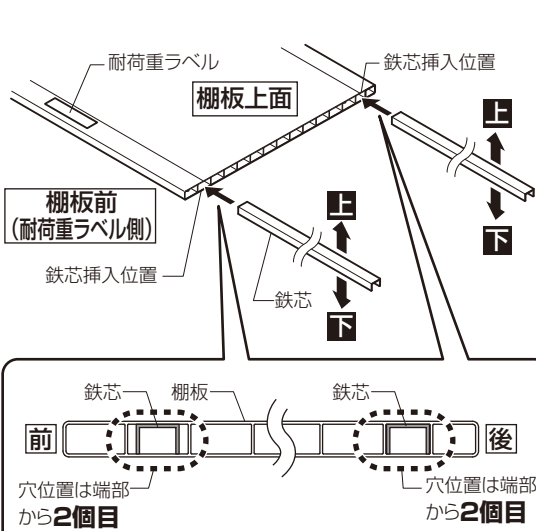
		1セット入	5セット入
樹脂棚板用ブラケット		2	10
棚板固定金具		4	20



①棚板、芯材の切断

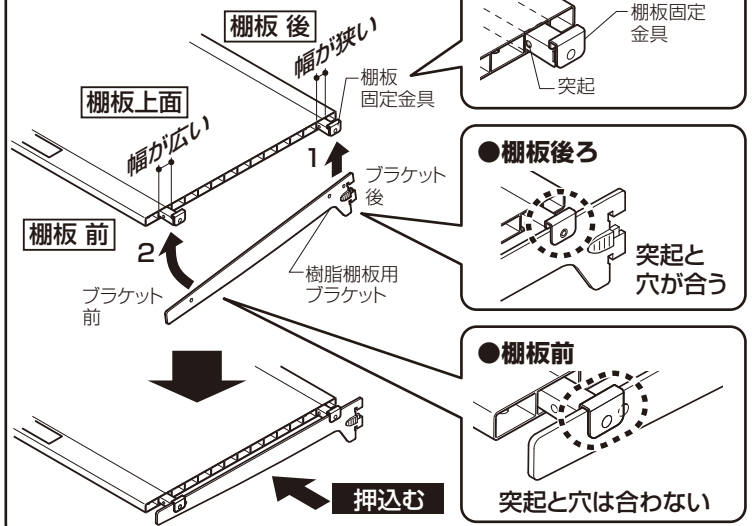


②鉄芯の取付け



③棚板固定金具

④樹脂用ブラケットの取付け

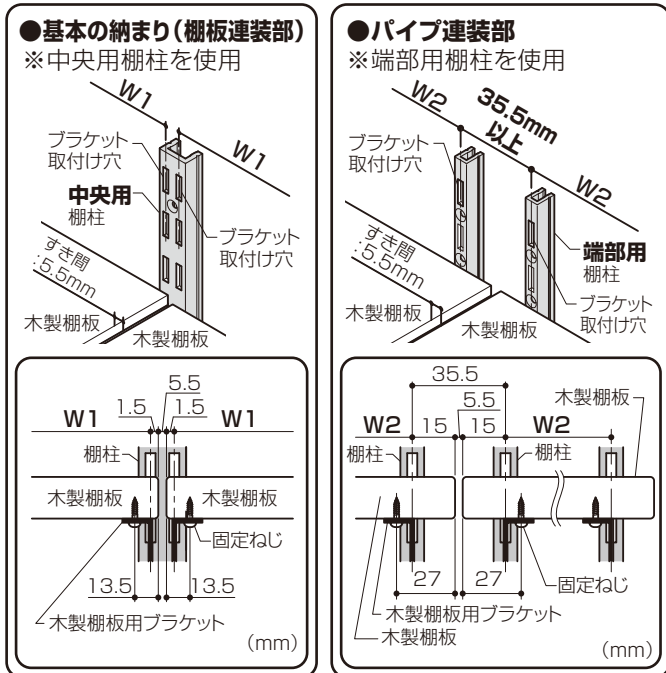


4 木製棚板の取付け

木製棚板取付け上のお願い

- 切断面は棚板の基材が露出するため、棚板の配置を確認した上で、切断してください。
- 耐荷重ラベルの位置を揃えるため、棚板は同じ方向から切断してください。
- 部材の脱落やゆがみなどが発生するため、必ず同梱の指定のねじを使用してください。
- 部品や部材が破損するため、クラッチ付きドライバーで固定してください。

- ① 棚板を切断します。(必要な場合のみ)
- ② 棚板の納まりを確認し、棚板裏面に下穴を開け、ブラケットを棚板に固定します。



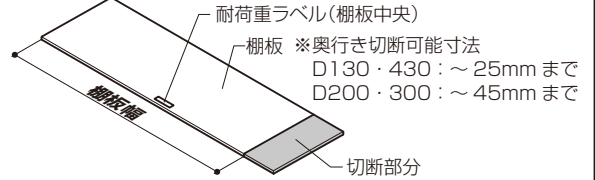
■ 木製棚板セット

	棚板枚数		棚板寸法	
	1枚入	3枚入		
棚板	1	3	130×603	130×913
			200×603	200×913
			300×603	300×913
			430×603	430×913

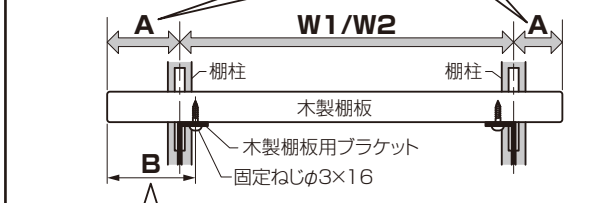
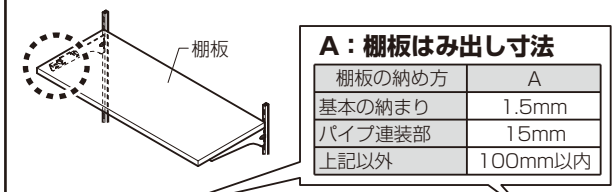
■ 木製棚板用ブラケットセット(D130・D200・D300・D430)

		1セット入	3セット入
木製棚板用ブラケット		左右各1	左右各3
固定ねじ(φ3×16)		4	12

① 棚板の切断

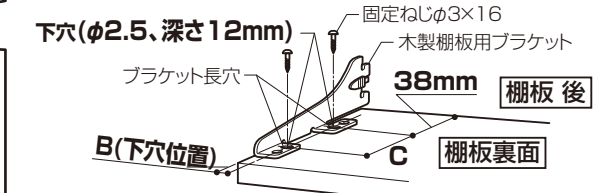


② 木製棚板用ブラケットの取付け



下穴位置B=A+12mm

棚板の納め方	B
基本の納まり	13.5mm
パイプ連装部	27mm
上記以外	A+12mm



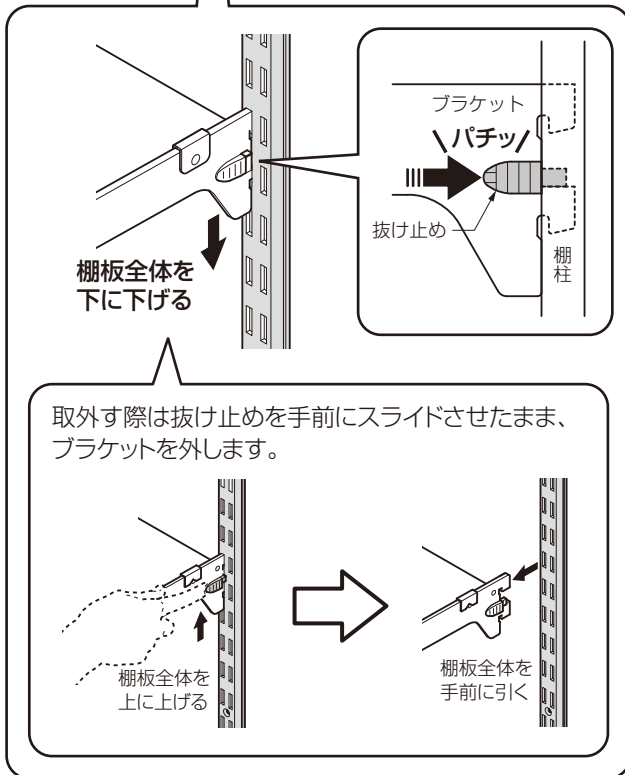
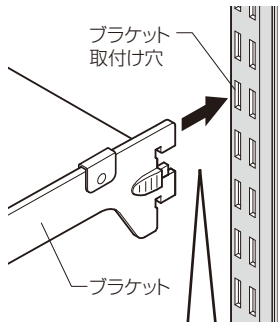
ブラケット呼称	C寸法
D130	45mm
D200	95mm
D300	195mm
D430	345mm

目 棚板の設置(樹脂棚板・木製棚板共通)

棚板設置上のお願い

- 脱落防止のため、ブラケットが棚柱から外れないことを確認してください。

① 同じ高さのブラケット取付け穴にブラケットを差込んで設置します。



※図は樹脂棚板の例です。

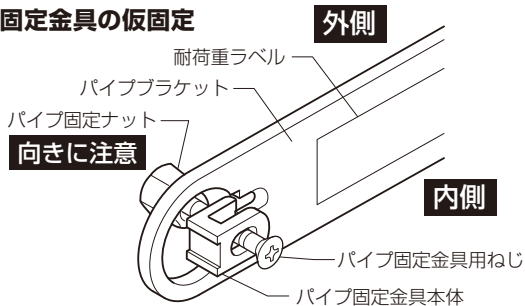
6 パイプの取付け

パイプ取付け上のお願ひ

- 耐荷重ラベルが見えるように、ラベルを内側にしてブラケットを取付けてください。
- エンドキャップが破損するため、取付け時に下記事項を守って取付けてください。
 - ・パイプ切断面のバリは取除いてください。
 - ・少しずつはめ込んでください。
- ※一度はめると簡単には外れず、強く叩き込むと割れます。
- パイプがガタつくため、ブラケット固定金具で固定してください。
- 脱落防止のため、ブラケットが棚柱から外れないことを確認してください。

- ①固定金具用ねじをゆるめて、パイプブラケットに固定金具を仮固定します。
- ②パイプブラケットをパイプに挿入し、両端にパイプ用エンドキャップを取付けます。
- ③同じ高さのブラケット取付け穴にパイプブラケットを差込んで設置します。
- ④パイプ固定金具をパイプに押しあて、パイプ固定ナットを押さえながら、ねじを締めて固定します。

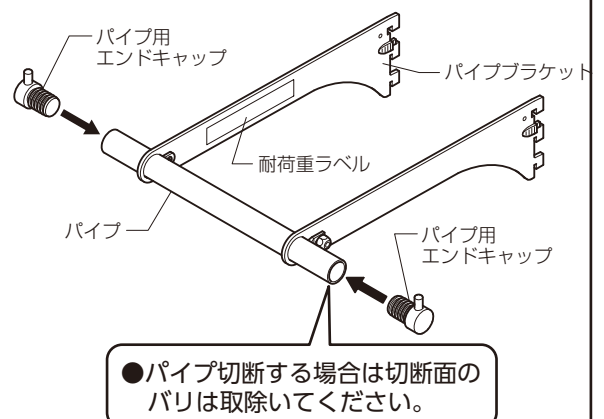
① 固定金具の仮固定



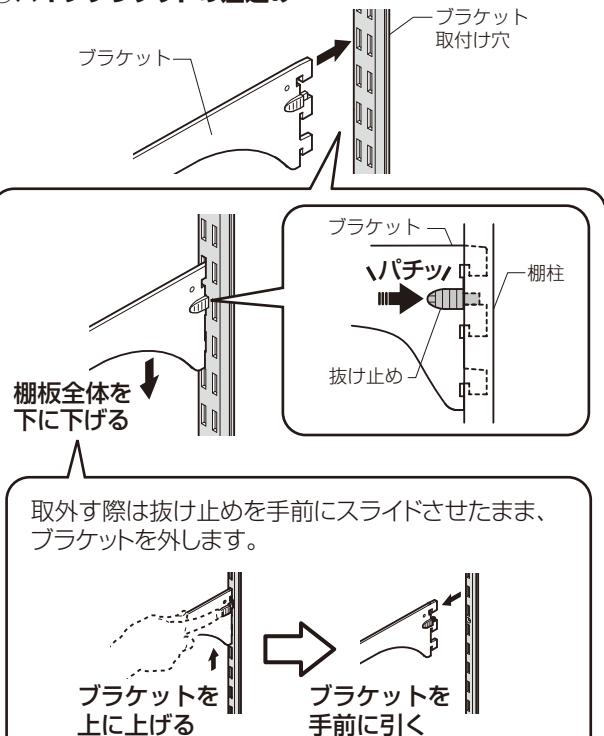
■パイプセット(D100・D270)

		員数
パイプ(L=920)		1
パイプブラケット		2
パイプ固定金具		2
パイプ用エンドキャップ		2

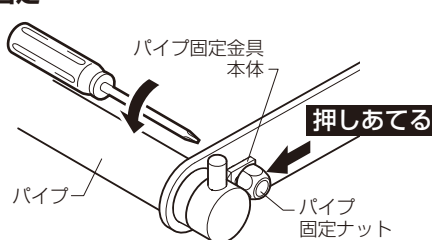
② パイプ用エンドキャップの取付け



③ パイプブラケットの差込み



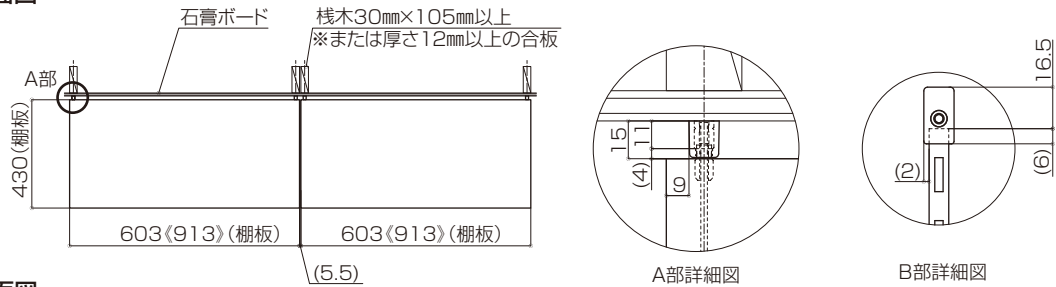
④ パイプの固定



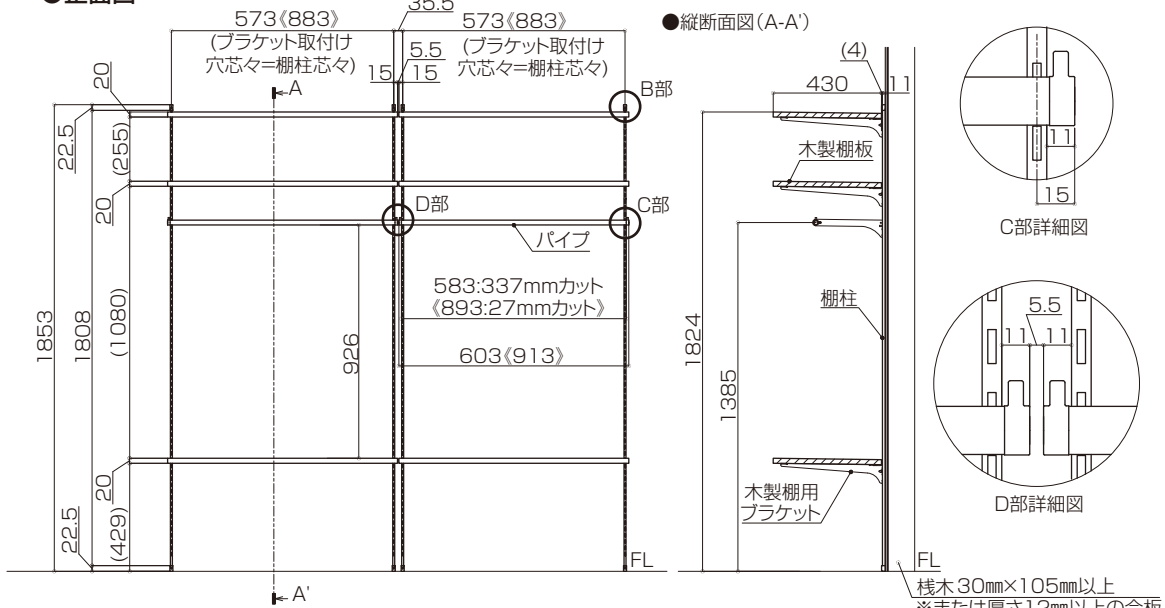
■納まり図

■木製棚板・パイプ連装納まり図

●上面図

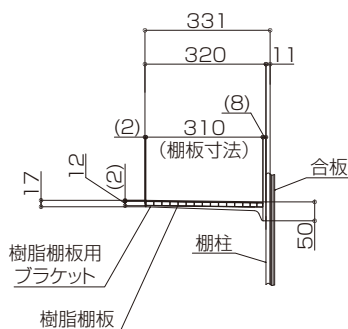


●正面図



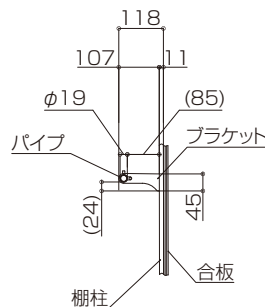
- ※1. 棚板・パイプの高さは任意の位置に変更可能です。(取付けピッチは25mmです。)
- ※2. 棚板・パイプは現場の納まりに合わせてカットして納めてください。
- ※3. 図面内の◊寸法は棚板W09時を示します。

■樹脂棚板納まり図

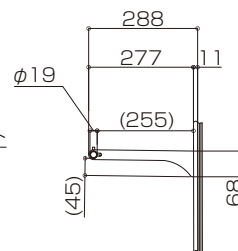


■パイプセット納まり図

【D100用】

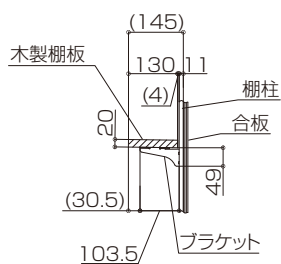


【D270用】

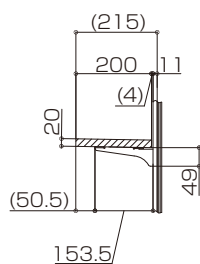


■木製棚板納まり図

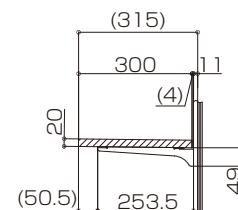
【D130用】



【D200用】



【D300用】



【D430用】

